



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

## CONTENTS

ごあいさつ	1	国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート	7
第37回国際福祉機器展 H.C.R. 2010 報告	2	広報、PR 活動、車いす貸出コーナー、 シャトルバス	8
特別企画	4		
出展社ワークショップI プログラム 出展社ワークショップII プログラム	5		
来場者アンケート	6		

編集・発行：財団法人 保健福祉広報協会  
Publisher: Health and Welfare Information Association  
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798  
定価 1部 200円 (消費税・送料込)

## グローバル化の流れのなかで 質の向上を

わが国では、「ようやく経済の回復に向けた兆しが見えてきた」と言われ始めました。一方で、急激な為替の変動や一向に好転しない雇用情勢などにより二番底懸念も払しょくされません。加えて人口の減少による国内市場の縮小や財政の危機的状況は、国民のなかに閉塞感を広げ若者を内向き志向にさせています。

政府では、この局面を打開するために平成の開国をすすめ、わが国経済をグローバル化させることを検討しています。

しかし規模の面からだけから考えるのではなく、質の向上を求めて考えていかなければなりません。グローバル化の流れのなかでは、高品質なものの提供こそわが国の存在感を高めてくれるからです。

社会保障制度においても質の向上の取組みは不可欠です。福祉の現場では、福祉サービスの取り組みが必ずしも利用者ニーズに質的量的に答えきれていないという現実があります。そうした声に応えるべく、わが国では介護保険制度、障害者総合福

祉法、子ども・子育て支援政策など、時代の変化にそった福祉諸制度改革に取り組んでいます。加えて、少子高齢化が進むなか医療・年金など他の社会保障制度改革も急務になっています。

一方で社会保障制度改革のための財源確保をどのように図っていくのか、そのなかで福祉サービスの質の向上をどう実現させていくのか、国民の社会保障制度に対する理解を深めることが重要です。

少子高齢化は先進諸国の共通課題です。その先頭を走るわが国が社会保障制度をどのように再構築していくかは、世界から注目されています。

設立から半世紀を経た本会では、引き続き国際福祉機器展の開催をもとに国内外の保健福祉に関わる最新情報を発信するとともに、人々の自立生活を支える福祉・介護等の拡充に努めてまいります。

今後とも皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財団法人 保健福祉広報協会



次回  
開催

### 第38回 国際福祉機器展H.C.R. 2011

38 th Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2011

H.C.R. 2010には出展企業・団体をはじめとした関係者の皆様に、多大なるご協力を賜り深く感謝申し上げます。

次回のH.C.R. 2011は、平成23年10月5日(水)～7日(金)に、東京ビッグサイトで開催いたします。

本会では、今後とも福祉機器の開発と普及の促進に努めてまいりますので、引き続き、関係各位のご協力、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

会期 2011年  
10月5日(水)～10月7日(金)

会場 東京ビッグサイト  
東展示ホール

出展募集 2011年  
2月1日(火)～3月31日(木)